



クリスチャンと 絵をかき

このお話は、ブラジルでの出来事です。

「では、これからアルメイダ姉妹のお話を聞きます」とビショップが言いました。

ガブリエルは紙とえんぴつを取り出しました。ガブリエルは、お話を聞きながら絵をかきのが好きなのです。お姉さんのアリスも同じでした。

アリスは今日、ライオンの絵をかいています。ガブリエルはきょうりゅうです。長い首としっぽをつけました。

そのときふと、ガブリエルが顔を上げました。小さな男の子がガブリエルたちの方へ歩いてきます。

「うわ。」ガブリエルはアリスにささやきました。「クリスチャンが来るよ。」

クリスチャンは4才です。クリスチャンは話すことができず、じっとすわっていません。集会の間、礼拝堂の中を歩き回ります。時々、ガブリエルの絵の上にならぐきをすることもあります。

ガブリエルはえんぴつを背中にかくそうとしまし

た。クリスチャンに取られなくなかったのです。

クリスチャンがえんぴつに手をのばしました。

「だめだよ！ぼくのなんだから！」ガブリエルは、クリスチャンの家族の方を指さして小さな声で言いました。「あっちに行つてすわりなよ。」

でもクリスチャンには理解できないようでした。ガブリエルのえんぴつを取ろうとしつづけます。

集会が終わると、ガブリエルはお母さんとアリスと一緒に初等協会に行きました。

「どうしてクリスチャンは礼拝堂を歩き回つてよくて、ぼくは静かにしていなければいけないの？」ガブリエルはお母さんにたずねました。

「クリスチャンの物の考え方は、ほかの人とちがうのよ」とお母さんが言いました。「歩き回ること、心が落ち着いて安心していられるの。」

「だけど、いつもぼくたちのじゃまをするんだ」とガブリエルは言いました。

アリスが顔をしかめました。「クリスチャンはただ絵をかきただけなのよ。」

「でも、絵のかき方を知らないじゃないか！」

「もしかしたら、わたしたちでクリスチャンを助けられるかもしれないね」とアリスが言いました。

次の日曜日、ガブリエルはせいさん会でアリスのとなりになりました。パンと水が配られた後、ガブリエルは絵をかこうとえんぴつと紙を取り出しました。すると、クリスチャンがこちらに向かって歩いてくるのが見えました。

ガブリエルはえんぴつをかくそうとしましたが、そこで手を止めました。クリスチャンはにっこりとほほえんでいます。ガブリエルは、アリスが言ったことを思い出しました。もしかしたら、今日はクリスチャンが絵をかきのを助けられるかもしれません！

ガブリエルはクリスチャンに笑顔を見せました。そして、クリスチャンがアリスと自分の間にすわれる

あなたは、教会でだれを助けられますか？

ように場所を空けました。クリスチャンにえんぴつと紙をわたします。アリスはクリスチャンがえんぴつを持つのを助けました。3人は一緒に、ぼう人間をかきました。

クリスチャンが笑いながら手をたたきます。とてもうれしそうです。ガブリエルもわくわくしました。クリスチャンがえんぴつを持つのを、今度はガブリエルが助けました。みんなで一緒に犬の絵をかきました。ガブリエルはにっこりしました。クリスチャンと絵をかきのは楽しい時間でした。

集会が終わったとき、クリスチャンの手元にはたくさんの絵がありました。クリスチャンは絵をぎゅっとだきしめて、自分の家族がすわっているベンチを指さしました。ガブリエルとアリスは、クリスチャンを連れてそちらに行きました。クリスチャンはお母さんに絵を見せてにっこりしました。

ガブリエルは、クリスチャンと一緒に絵をかきることができてよかったと思いました。そして、良いものは人をしめしてくれるお姉さんがいることをうれしく思いました。●

